

霧島山の火山活動解説資料(平成20年6月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

新燃岳

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

6月の活動概況

・噴気など表面現象の状況

遠望観測では火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況(表1、図2、図3)

火山性地震の発生回数は4回(5月:25回)で、少ない状態でした。火山性地震の震源は、主に新燃岳付近の深さ0~1kmに分布しています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図4、図5)

GPSによる連続観測では、長期的には新燃岳の山体膨張を示す観測結果が得られていますが、2007年4月頃からは伸びがやや鈍化しています。

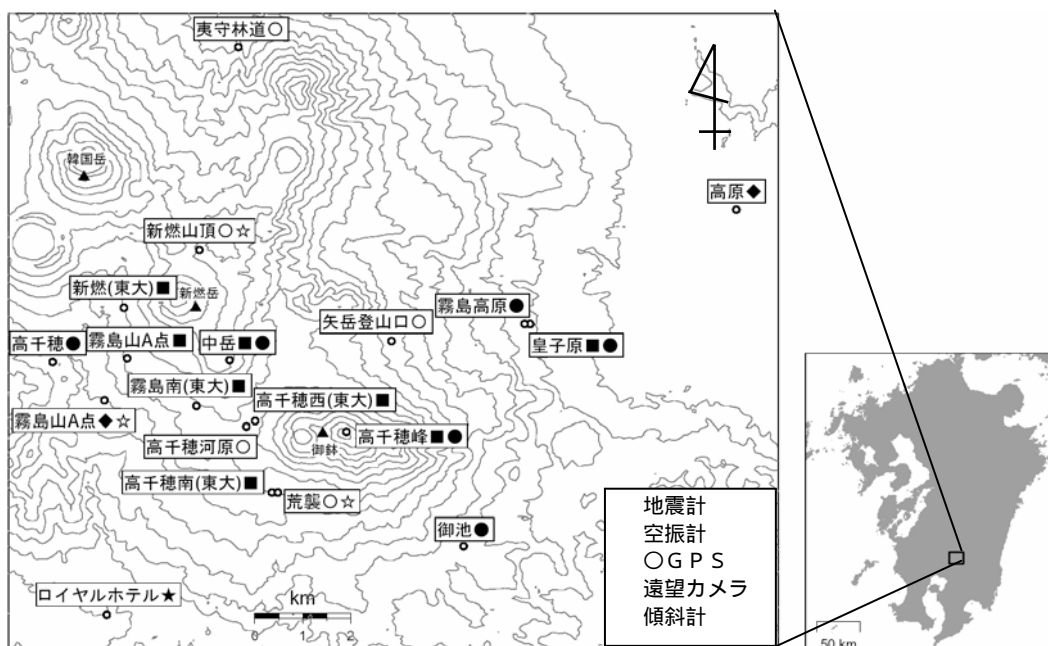


図1 霧島山 観測点配置図

この資料は気象庁の他、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年7月分)は平成20年8月8日に発表予定です。

表1 霧島山(新燃岳) 最近1年間の地震・微動回数(2007年7月~2008年6月)

2007~2008年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	47	163	35	54	21	118	2	3	13	19	25	4
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

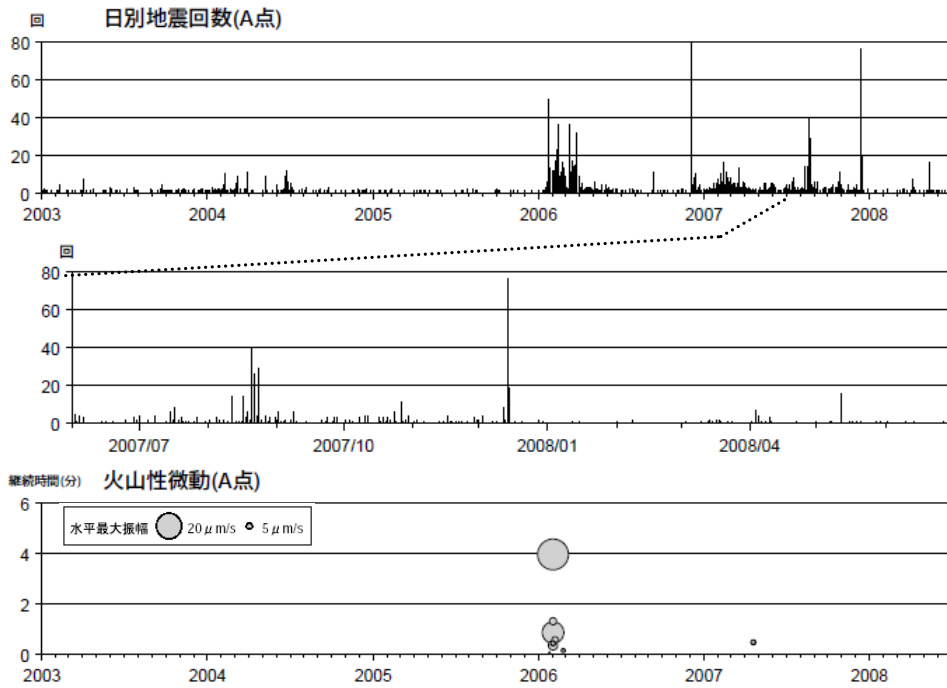


図2 霧島山(新燃岳) 地震・微動活動経過図(2003年1月~2008年6月)

- ・火山性地震の発生回数は4回で、少ない状態でした。
- ・火山性微動は観測されませんでした。

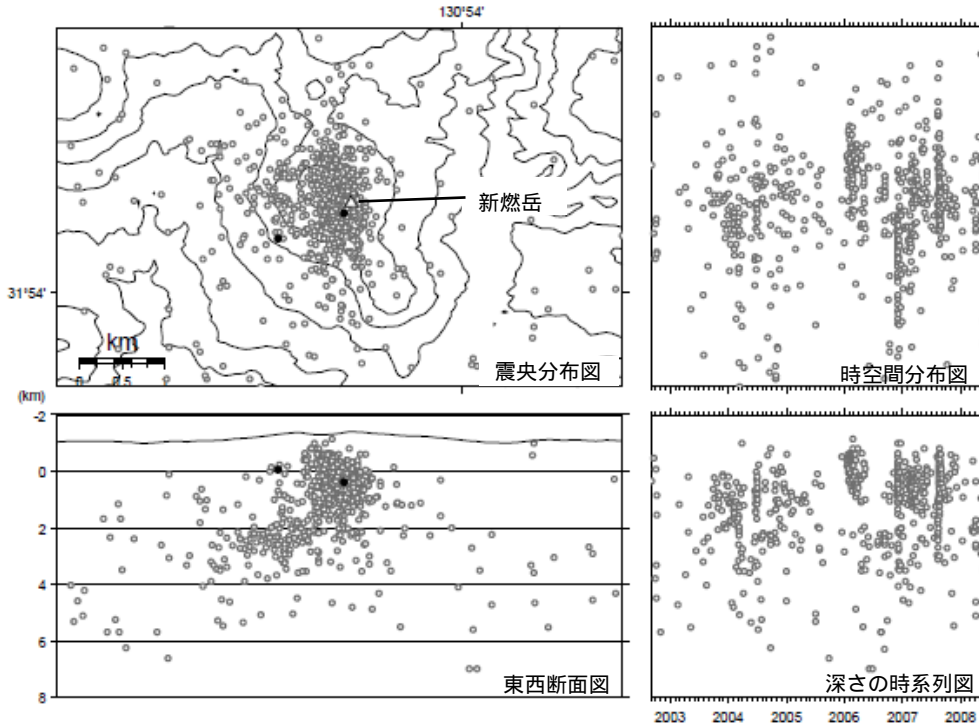


図3 霧島山(新燃岳) 震源分布図(2002年9月~2008年6月)

今期間の震源は、主に新燃岳付近の深さ約0~1kmに分布しています。

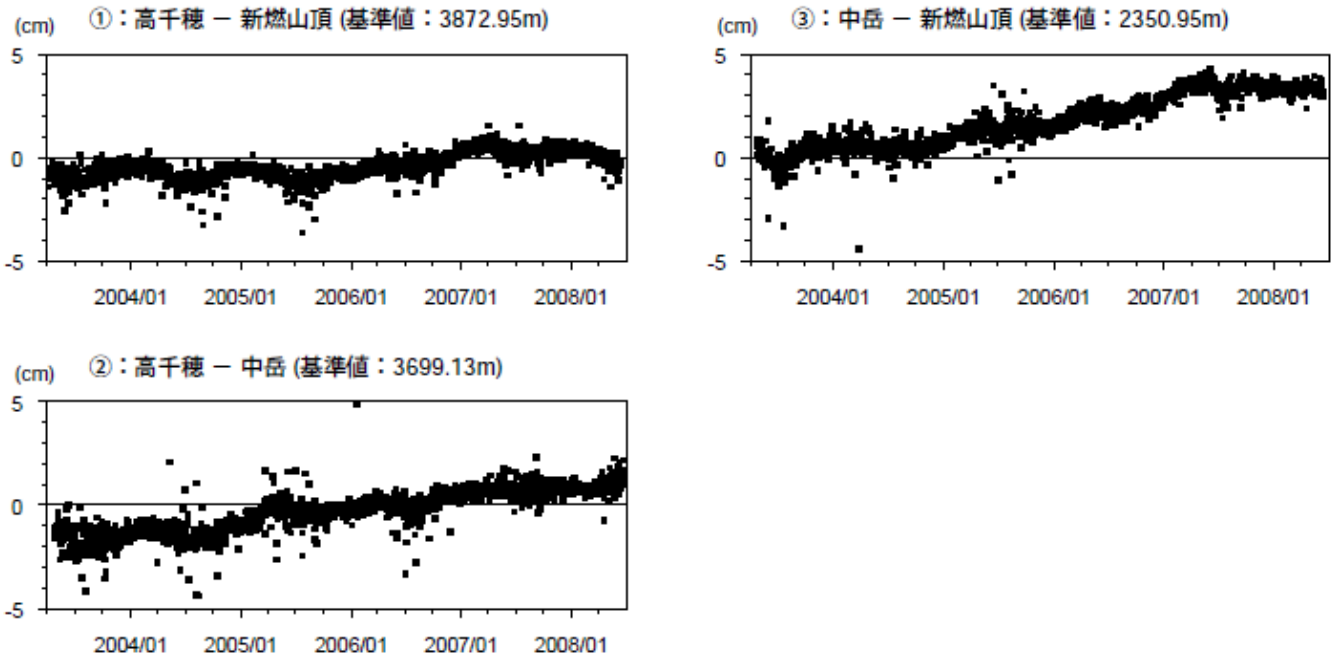


図4 霧島山(新燃岳) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年6月)
 長期的には新燃岳の山体膨張を示す観測結果が得られていますが、2007年4月頃からは伸びがやや鈍化しています。

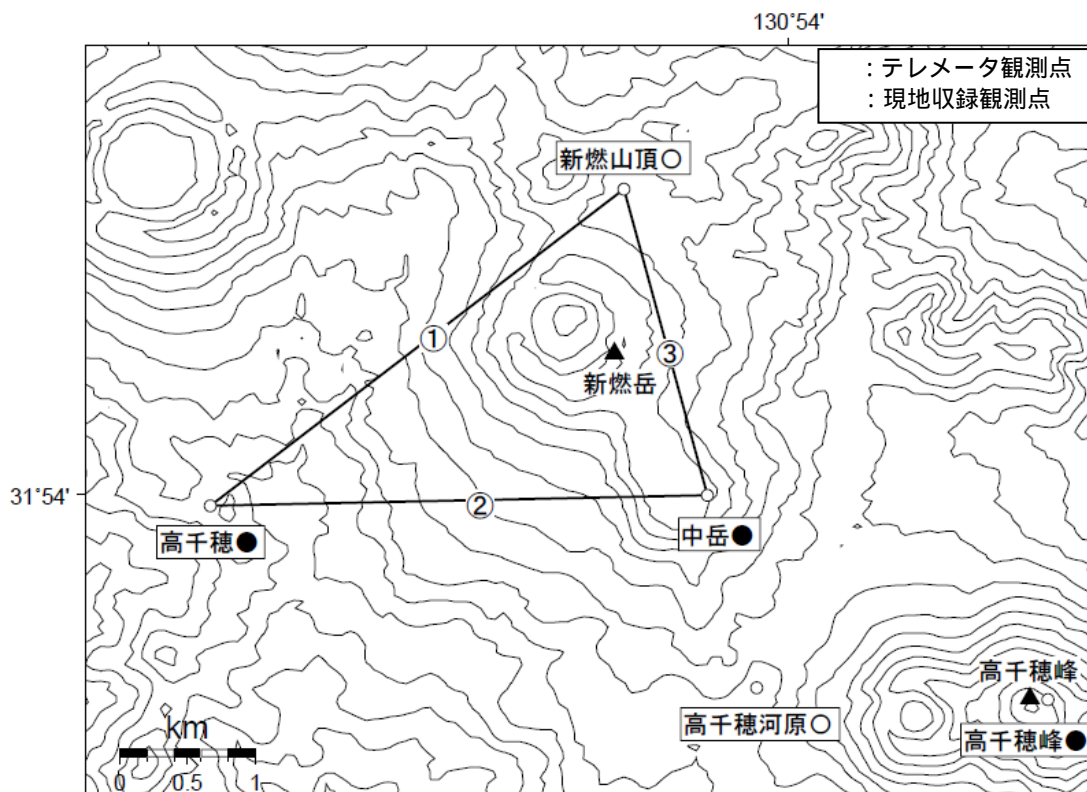


図5 霧島山(新燃岳) GPS連続観測点と基線番号
 新燃岳を囲んだ3観測点の基線による観測を行っています。
 この基線は図4の ~ に対応しています。

御鉢

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

6月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況(図6)

遠望カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況(表2、図6、図7)

火山性地震の発生回数は5回(5月：なし)で、少ない状態でした。今期間、火山性地震の震源は求まりませんでした。火山性微動の発生回数は1回(5月：なし)で、少ない状態でした。

・地殻変動の状況(図8、図9)

GPS連続観測による地殻変動観測では、火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

表2 霧島山(御鉢) 最近1年間の地震・微動回数(2007年7月～2008年6月)

2007～2008年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	32	1	11	9	0	3	2	3	5	7	0	5
微動回数	2	1	1	0	0	0	2	1	2	5	0	1

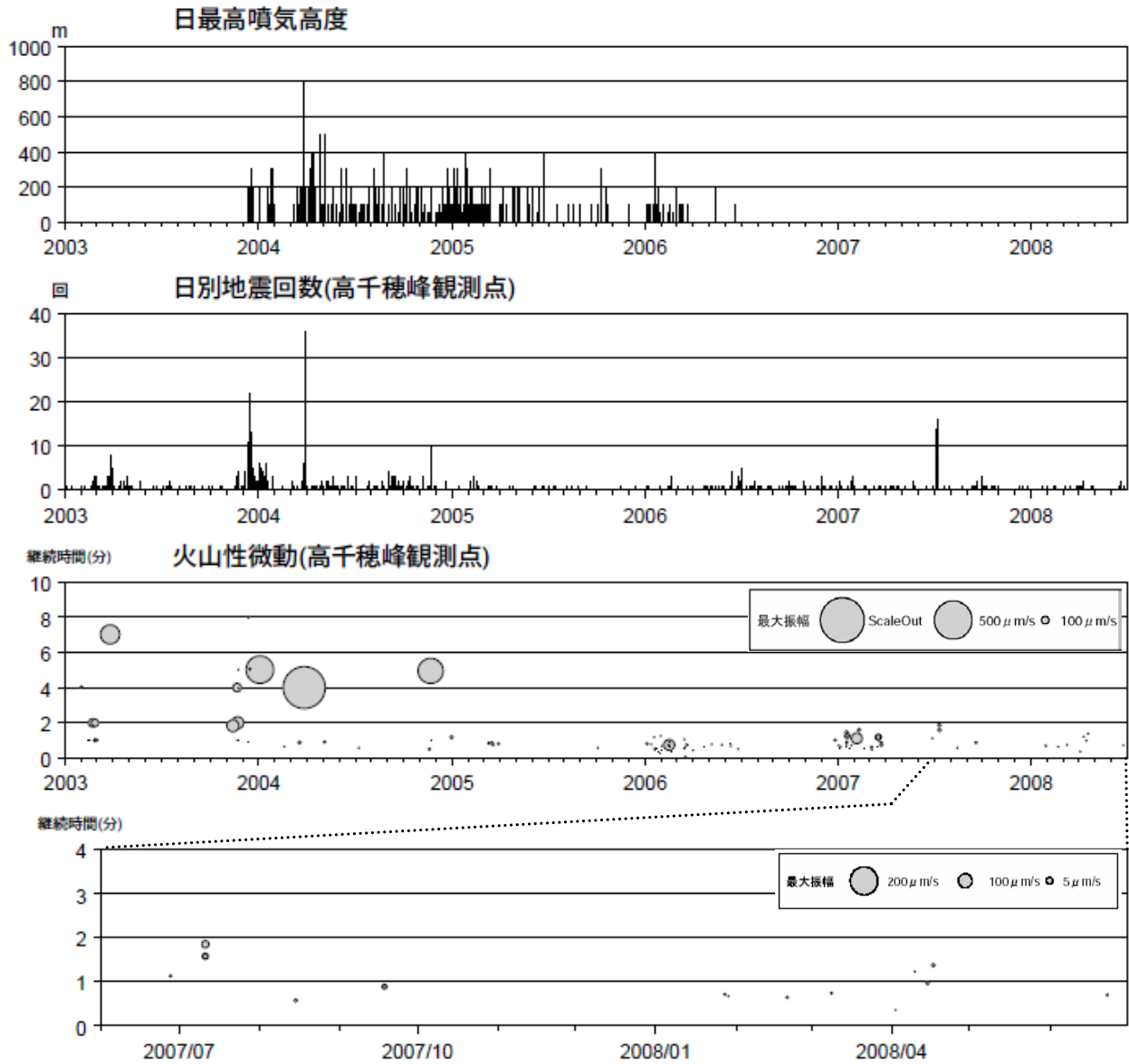


図6 霧島山(御鉢) 火山活動経過図(2003年1月~2008年6月)
 ・遠望カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
 ・火山性地震の発生回数は5回で、少ない状態でした。
 ・火山性微動の発生回数は1回で、少ない状態でした。

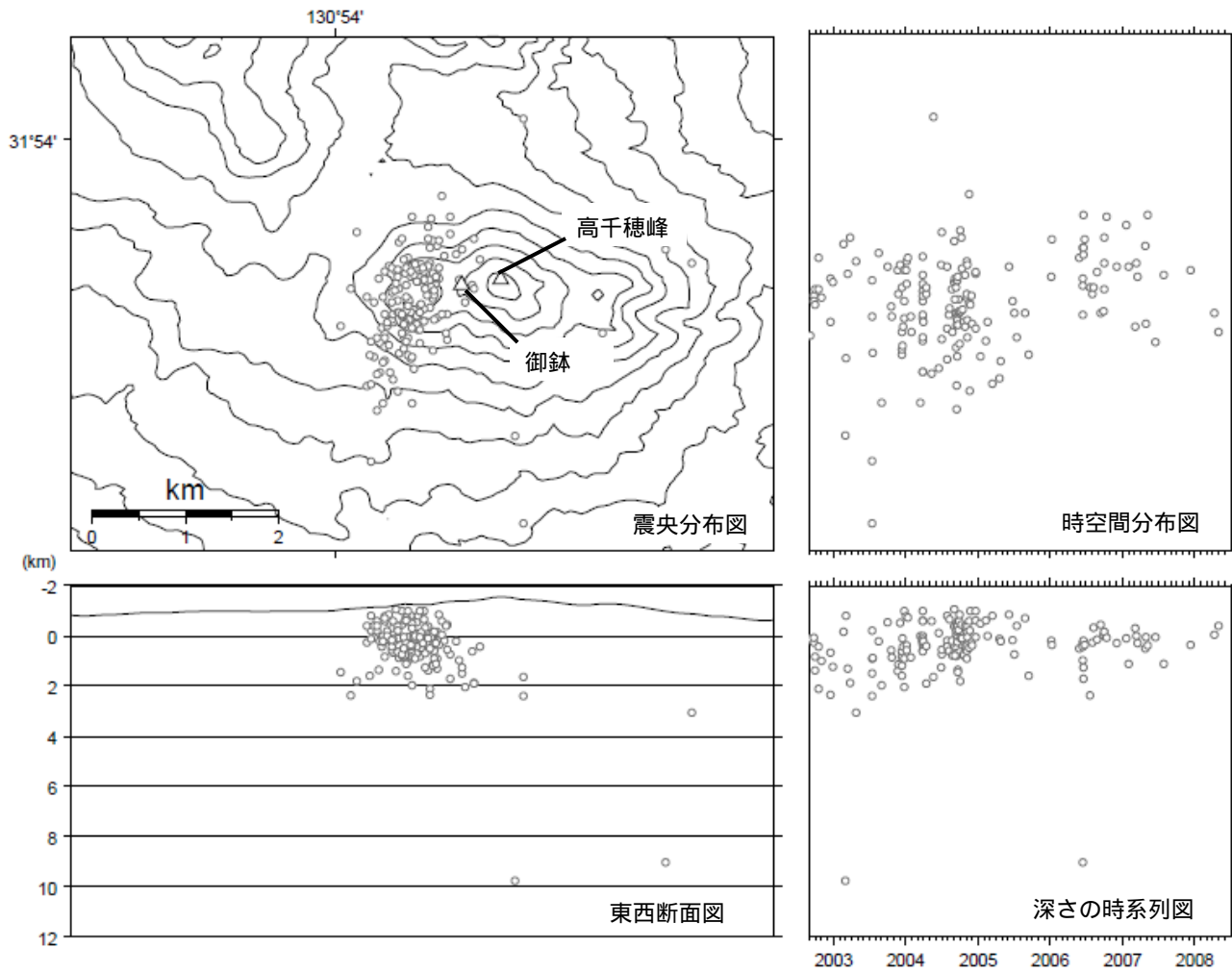


図7 霧島山(御鉢) 震源分布図(2003年9月~2008年6月)
 今期間、火山性地震の震源は求まりませんでした。

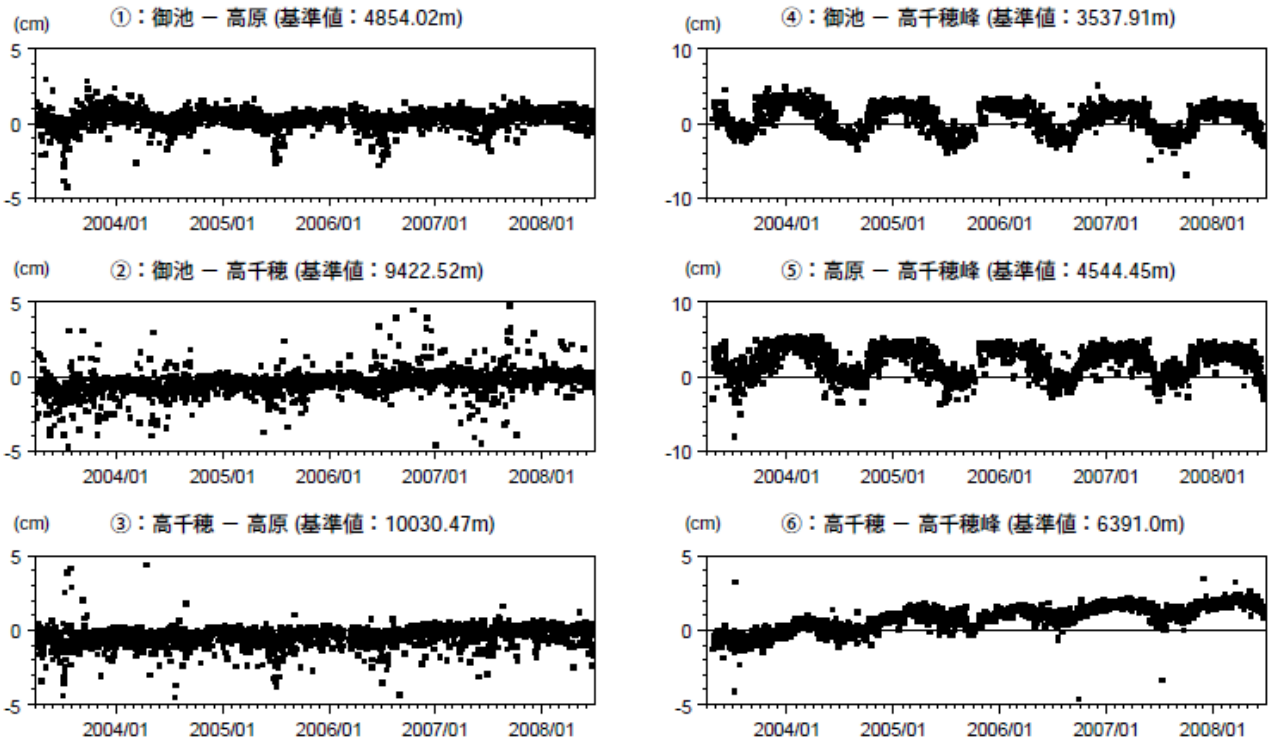


図8 霧島山(御鉢) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年6月)
各基線長には火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

* 概ね1年周期の大きな変動は季節変化によるものです。これは観測点間の標高差が大きいほど顕著に現れます。

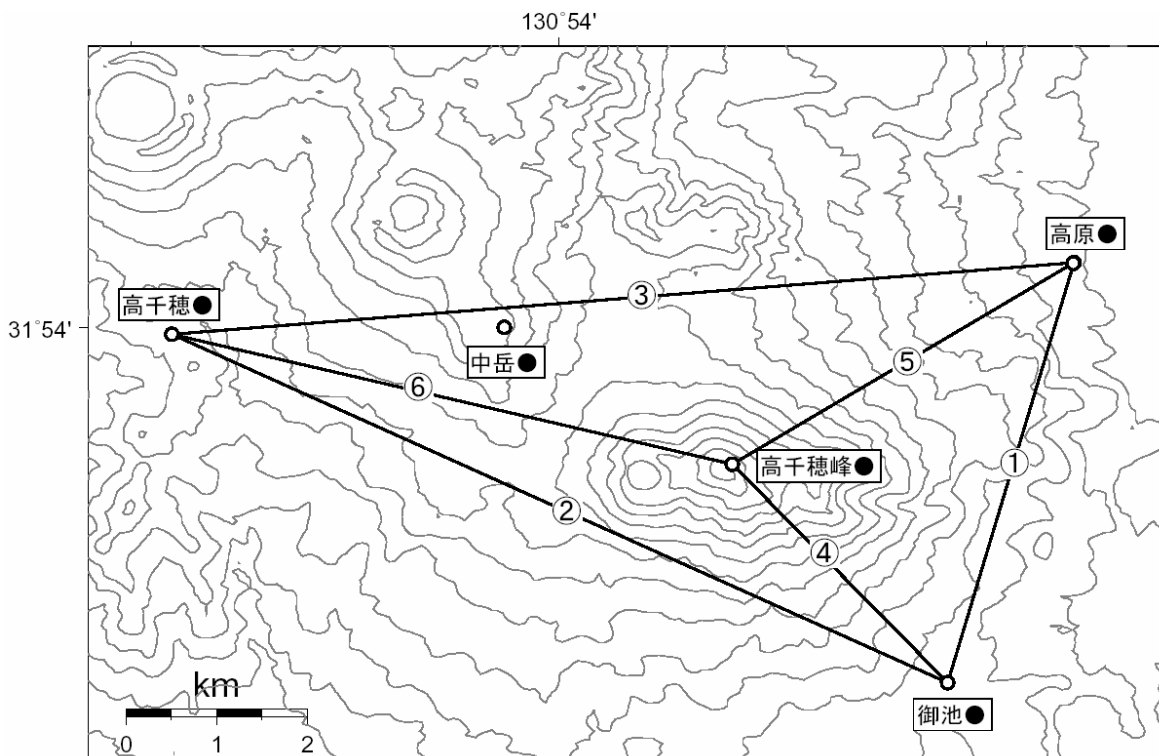


図9 霧島山(御鉢) GPS連続観測点と基線番号
御鉢を囲んだ観測点の基線による観測を行っています。この基線は図8の ~ に対応しています。